

6色の竹灯りで、東北の絆を1つにする 6/10(土) 限定！仙台西公園内にて開催！ 東北の更なる復興と、先の未来へ向けて、笑顔と灯りでつなぐ



主題

東北絆まつりで、6色の竹灯りで、東北の絆を1つにする

1) 6色の竹灯りを展示 (点灯：18時～20時予定)

30cm 前後の6色の竹灯り 600本、1m～2m以上の竹灯り 30本ほど展示します。

2) 竹灯りのワークショップ (10時予定)

熊本から竹職人「CHIKAKEN」を招き、竹灯り制作のワークショップを行います。

3) 東北6県を表した6色の短冊 (10時予定)

6色の短冊を無料配布し、竹灯りに願いをかけて、心と絆を集めます。

4) 東北の子供達の笑顔の傘の展示 (12時予定)

NPO 法人 MERRY PROJECT の協力により、東北の子供達の笑顔の傘を開きます。

展示 一般社団法人七夕協会

日時 2017 年 6 月 10 日 (土) 10:00～20:00

場所 仙台西公園 (宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園3)

※2つのイベント会場を結ぶ歩道、約40～50メートルに展示

お問合せ先：一般社団法人七夕協会

広報窓口：小磯 (TEL：080-4198-3989 MAIL：info@tanabata.org)

6色の竹灯りで、東北を絆で1つにする

東北日本大震災の犠牲となった多くの方の魂を弔い、東北の復興の狼煙を上げるため、2011年7月に仙台から始まった東北六魂祭。 昨年の青森開催で6市を一巡。しかし、東北の復興は道半ば、私たちは更なる復興と その先の未来に向けて前進したいという想いを表現したのが「6色の竹灯り」です。

竹=互いに手を取り合って助け合い生きる

灯り=熱い絆が未来を灯す 六色=青森(青)、秋田(黄)、岩手(赤)、宮城(緑)、山形(紫)、福島(白)

竹のように助け合い生きる

竹は、種を蒔いても約3年間はまったく変化を見せないといひます。ところが3年後地上に少し芽を出すと同時にその竹はあっという間に20メートル以上伸びてしまいます。では、その竹は3年もの間、いったい何をしていたかという、それは一気に20メートル以上も伸びる自身の身体を支えるために、来る日も来る日も地中深く根を仲間と交わり、張っているのである。竹は、個では生きることにはできない。皆と協力し合い、はじめて生きられるということを知っているのである。この竹の生き方と、東北の絆祭りのコンセプトを重ねました。

一般社団法人七夕協会とは？

七夕を中心とする行事や活動を奨励・支援する団体として、まず会員に自己実現の機会を与え、理念と信条と理想に生きるための心境・環境を整え、会員相互間での情報交換や相互支援するネットワークをつくり、七夕文化の国内外への普及と発展を図り、七夕を最大の機会として、地球上のあらゆる地域において、心豊かな社会を創出することを目的として活動。

事業内容とは？

1. 七夕に関する寄付サイトの企画・制作・運営
2. 七夕まつり、その他七夕関連行事への企画・資金・物品・人材・観光の支援
3. 七夕に関する各種イベント、チャリティーセミナー、講演会等の企画・運営・管理・実施
4. 七夕の普及・発展に資するインターネット及び印刷物等による情報提供サービス
5. 七夕に関する会員コミュニティ・国際的な交流活動を推進する事業
6. 前各号に掲げる事業に附属又は関連する事業
7. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

社名：一般社団法人七夕協会

理事：小磯卓也、高橋健太郎、星山真理子

住所：〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目26-7 ビクセル新宿 1F

HP：http://tanabata.org

お問合せ先：一般社団法人七夕協会

広報窓口：小磯 (TEL：080-4198-3989 MAIL：info@tanabata.org)